

薬学英語2

(Pharmacy English 2)

担当教員

教授 佐藤 毅
非常勤講師 鎌田 雅夫
非常勤講師 日比野 健一

| 科目群 | 開講期 | 授業形態 | 単位数 | 必修等 |
|-----|----------|--------|-------|-----|
| 外国語 | 2年次 前期後期 | 講義 PBL | 1.5単位 | 必修 |

【概要】

自然科学分野における最新の情報は英語で発信されることがほとんどである。そのような情報を理解するためには、英語で書かれた専門的文章の読解力が必須である。本講義では英語で書かれた専門書、教科書を読むための基礎力を養うことを目標とする。化学、生化学系の様々なトピックに関して、英文を聞き、内容を理解する。トピックの内容は、専門基礎教科において学習したものを中心とし、それらが英語ではどのように語られるのか、主にリーディングとリスニングによって学ぶ。

【授業の一般目標】

英語で書かれた専門書、教科書を読むための基礎力を養うことを目標とする。教科書には化学、生物化学関連のトピックが英語、日本語で載っている。正しく発音された英文を聞き、リスニング力の強化を目指す。また、教科書におけるトピックと類似の内容の英語文章を読み、和訳することで、化学、生物化学分野における専門的事項を英語で理解できるようになることを目指す。

【準備学習(予習・復習)】

教科書や講義において配られるプリントの復習をしっかりと行うこと。教科書Chapter 3に載っている頻出基本構文を覚えること。毎回の講義において確認テストを行う(詳細は初回講義において説明する。)。本講義の予習、復習には毎週180分程度の時間が必要となる。

【学習項目・学生の到達目標】

| No | 学習項目 | 担当教員 | 学生の到達目標 |
|----|---------------------------|-------|---|
| 1 | Atom | 上記を参照 | 薬学での英語発表に際して、必須な準備と原子に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 2 | Bond Strength and Length | 同上 | 結合の強さと長さに関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 3 | Hydrogen Bonding | 同上 | 水素結合に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 4 | Catalysis | 同上 | 触媒に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 5 | Name of Compounds | 同上 | 化合物の名称の確認を行う。 |
| 6 | Nucleophilic Substitution | 同上 | 求核置換反応に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 7 | 中間テスト(リスニングを含む) | 同上 | 項目1-6の理解度と用語の表現と聞き取り能力を評価する。 |
| 8 | Kinetics | 同上 | 速度論に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 9 | Polymer | 同上 | ポリマーに関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 10 | Supramolecular Chemistry | 同上 | 超分子化学に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 11 | Photosynthesis | 同上 | 光合成に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 12 | Cell-1 | 同上 | 細胞に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 13 | Cell-2 | 同上 | 細胞に関する英文を読み、英文和訳し、内容を理解する。 |
| 14 | Cell-3 | 同上 | 細胞に関する英文を読み、英文和訳し内容を理解する。 |
| 15 | 総括・まとめ | | |

| | | |
|-------------|---------|-------|
| (書名) | (著者・編者) | (発行所) |
| 教科書 化学英語101 | 國安 均 | 化学同人 |

【成績評価方法・基準】

中間試験(40%)と期末試験(40%)の成績、および毎回の確認テスト(20%)等を総合評価。

【評価のフィードバック】

試験の解説を試験終了後に、Moodle上に公開する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

佐藤：月曜日、火曜日 13:00-17:00。

メール（アドレス等の連絡先は初回講義において連絡する）にてアポイントメントを取ること。